

## 特別講演会

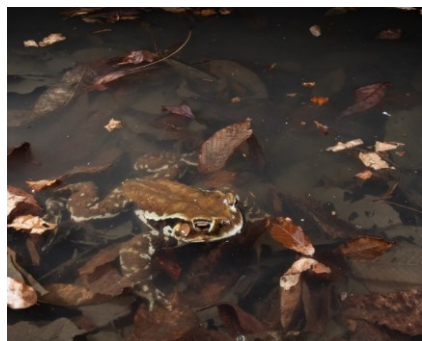
# ヒキガエルのはなし

## ～毒を持つ不思議なカエルのホントのところ～

日本最大級のサイズを誇るカエル、ヒキガエル。堂々とした姿には大きなインパクトがあるものの、その生態はあまり一般に知られていません。

繁殖期に多数のオスが集まってメスを取り合う「蛙合戦」、冬眠から覚めて繁殖活動に励んだ後の「春眠」、イヌに泡吹かせるほどの強力な毒「ブファジェノライド」を持ち、その毒を横取りする毒ヘビ、ヤマカガシ。実はこの毒は私たち人間も活用することがあるんです。また、ヒキガエルは俳句や絵本をはじめとした文学作品に登場したり、神社や山の頂上などで神様にもなってしまう不思議な存在でもあります。

この魅力的な「やまのぬし」について、その生態や毒、国内外来種などをキーワードに、日本や世界各地でヘビやヒキガエルを追いかけてきた研究者にお話をいただきます。



3月の極寒の中、メスを待つオス個体



大量のオタマジャクシ



ヒキガエルを食べるヤマカガシ

**日時**

令和6年5月25日(土)  
14:00～15:30

【講師：福田将矢さん】

長崎県佐世保市出身。博士(理学)。生物の持つ「毒」に魅せられ、京都大学大学院理学研究科にてヘビやカエル、ホタルにまつわる毒の研究を行う。現在はURAとして大学で研究支援を行う傍ら、趣味でヘビ類の体色に関する研究を続けている。



**場所** 久万高原町まちなか交流館展示室  
(久万高原町久万134番地)

**参加費** 100円 **定員** 50人

**参加には申し込みが必要です。**

※お問い合わせ・お申込みは面河山岳博物館(電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136)  
※雨天等による中止の場合は、当日8時までに決定の上、電話連絡いたします。

フォームから申込可↓



## 参加申込票

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡のみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	
電話番号	